

<出演団体紹介>

- ・大阪フィルハーモニー交響楽団 (<http://www.osaka-phil.com/>)

1947年「関西交響楽団」という名称で生まれ、創立から2001年までの55年間、朝比奈隆が常任指揮者・音楽総監督を務めた。第2代音楽監督・大植英次の後を受け、現在は井上道義が首席指揮者を務める。「定期演奏会」(年10回、毎回2公演開催)をフェスティバルホールで行うほか、平日昼の演奏会「マチネ・シンフォニー」、御堂筋や中之島を中心とした音楽イベント「大阪クラシック」など幅広い活動を行っている。また大阪以外の全国各地でも文化振興に貢献しており、数回にわたるヨーロッパ、カナダ、アメリカ、韓国、台湾での演奏旅行においても絶賛を博した。

- ・関西フィルハーモニー管弦楽団 (<http://www.kansaiphil.jp/>)

1970年発足。2003年NPO法人化、2014年認定NPO法人化。世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイが2011年より楽団史上初の音楽監督に就任。藤岡幸夫は2007年より首席指揮者に就任。飯守泰次郎は2011年桂冠名誉指揮者に就任。BSジャパンの音楽番組に藤岡幸夫と共に出演中。2015年5月から6月にかけては、スイス・ドイツ・イタリアの3カ国5都市を巡る楽団初のヨーロッパツアー(合計5公演)を開催し、各地で大きな注目を集めた。

- ・大阪交響楽団 (<http://sym.jp>)

1980年創立。永久名誉楽団代表・敷島博子が『聴くものも、演奏するものも満足できる音楽を!』をモットーに提唱。いつも聴衆を“熱く”感動させるその演奏は、「魂の叫び」「情熱の音」であると評されている。ミュージック・アドバイザー 外山雄三、常任指揮者 寺岡清高での新体制の大阪交響楽団にご期待ください。

- ・日本センチュリー交響楽団 (<http://www.century-orchestra.jp/>)

1989年に活動を開始し、創立25周年を迎えた2014年度には首席指揮者に飯森範親を、首席客演指揮者にアラン・ブリバエフを迎え新たなスタートを切った。2015年度はアーティスト・イン・レジデンスに小山実稚恵を迎え、シンフォニー定期演奏会の金曜・土曜2回連続公演や、ハイドンの交響曲を全曲演奏・録音する「ハイドンマラソン」などにチャレンジしてきた。2016年度は「エンジョイ・センチュリーシリーズ」と題し、ジャンルを超えた新たな形態のコンサートを実施。同年秋からは大阪府豊中市に完成予定の豊中市立文化芸術センターの指定管理事業に携わり、豊中市の文化芸術の発展に尽力する。

- ・Osaka Shion Wind Orchestra[オオサカ・シオン・ウインド・オーケストラ] (<http://shion.jp/>)

1923年(大正12年)に誕生以来『しおん』の愛称で親しまれている日本で最も長い歴史を持つ交響吹奏楽団。クラシックからポピュラーまで誰もが楽しめるコンサートを展開し、各都市での演奏会や吹奏楽講習会、CD録音など、幅広い活動を通して音楽文化の向上と発展のために力を注いでいる。これまでに3度の大阪文化祭賞、日本民間放送連盟賞、日本吹奏楽アカデミー賞演奏部門賞、大阪芸術賞を受賞。2014年4月より宮川彬良が音楽監督、秋山和慶が芸術顧問に就任。2015年3月、大阪市音楽団から改称。

- ・大植 英次(「大阪クラシック」プロデューサー)

大阪フィルハーモニー交響楽団桂冠指揮者、ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー名誉

指揮者。桐朋学園で齋藤秀雄に師事。1978年、小澤征爾の招きによりアメリカ・タンゲルウッド・ミュージック・センターに学び、同年ニューイングランド音楽院指揮科に入学。タンゲルウッド音楽祭でレナード・バーンスタインと出会い、以後世界各地の公演に同行、助手を務めた。これまでにバッファロー・フィル準指揮者、エリー・フィル音楽監督、ミネソタ管音楽監督、ハノーファー北ドイツ放送フィル首席指揮者、バルセロナ響音楽監督、大阪フィル音楽監督を務め、2000年よりハノーファー音楽大学の終身正教授も務めている。2005年『トリスタンとイゾルテ』で日本人指揮者として初めてバイロイト音楽祭で指揮し、世界の注目を集めた。レコーディングは、米国リファレンス・レコードより、ミネソタ管との12枚のCDがリリースされ、1996年「ストラヴィンスキー：『火の鳥』」と97年「展覧会の絵」が2年連続でグラミー賞ノミネート、2004年にはミネソタ在住の作曲家アージェントの作品集「グイーディの館」でグラミー賞を受賞した。さらには、ドイツ・グラモフォンやユニバーサル・ミュージックからもリリースされているほか、大阪フィルとのライヴ録音シリーズ「エイジ オブ エイジ」がフォンテックより定期的にリリースされている。

2006年大阪芸術賞特別賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。2007年大阪市市民表彰受彰。2009年ニーダーザクセン州功勞勲章・一等功勞十字章受章。